まちの言だい

12月6日 | 夢の詰まった贈り物

初倉公民館で、読み聞かせボランティア「おは なしエプロン」による、「クリスマスおたのしみ会」 が開催されました。163人もの親子が参加したこ の会は、今年12年目を迎える恒例行事です。

クリスマスをテーマにした物語のお話の後には、 サンタクロースが登場。子どもたちはサンタの登場 に驚きながらも、一人一人に手渡された手作りプ レゼントをうれしそうに受け取っていました。



12月15日 | 伝統の正月遊びを体験

五和小学校の1年生57人が、羽子板と羽根を 手作りして「羽子板遊び」を体験しました。

金谷コミュニティ委員会チーム「おもしろ五和 駅」のメンバーが、材料を用意し子どもたちに道 具の作り方や遊び方を指導。板に思い思いの絵を 描き、自分だけの羽子板を完成させていました。 子どもたちは、「最初は上手く打てなかったけど面 白かった」と目を輝かせていました。

12月20日 | 赤いトサカの巨大干支

大代地区の地域づくりグループ「王子田会」が、 年末恒例の「ジャンボ干支」を制作しました。

11月下旬から約10日間かけて作り上げたのは、 来年の干支である「酉」 4羽。会員の15人が地 元の間伐材や竹で作った骨組みに、ニワトリには 藁を、ヒヨコには杉の葉を張り合わせて完成させ ました。夜にはライトアップされるこのジャンボ干 支は、2月末まで展示される予定です。





12 月 18 日 | 地域をつなぐ年末行事

東光寺・阿知ヶ谷福祉の会が主催する「餅つき 大会とミニ門松づくり」が阿知ケ谷公会堂で行わ れました。86人の子どもたちは、地元の子ども会 や老人クラブの大人の手ほどきを受けながら、餅 つきやミニ門松の飾り付けを学びました。

子どもたちは、早朝から自分が苦労して作った お餅と門松をお土産に持ち帰り、一足早い正月気 分を味わっていました。

1月1日 |新年の福を呼ぶ走り初め

恒例の「みんなで走ろう!元日マラソン」が、大 井川マラソンコース「リバティ」で開催されました。 40 回目となる今年の大会には、約 2,500 人が 参加。ランナーは、2·5·10km の各部門に分かれ、 新春の青空の下ゴールを目指して、爽やかな汗を 流しました。参加者は、ゴールで振る舞われた温 かい豚汁で英気を養い、寒さに負けないくらいの 笑顔で、新しい一年をスタートさせていました。





トピックス

全力でたすきをつないだ 11 区間



12月3日に静岡市で行われた「第17回しずおか市町対抗 駅伝」。小学生から成人まで11人の代表選手が力走し、県庁 前から草薙陸上競技場までの42.195kmを、たすきでつなげ て駆け抜けました。島田市のタイムは2時間22分7秒で、市 の部19位。中でも第5区の池田耀平選手は、区間賞を獲得 する素晴らしい走りを見せました。他の選手たちも沿道やテ レビの向こうからの応援を力にして、精一杯の走りで期待に 応えてくれました。